

試験区分：行政（国際・観光）

みらい企画創造部
国際人材活躍・コンベンション誘致推進課
国際人材活躍・コンベンション誘致担当



主事 加藤 翔真



入庁後の経歴

令和3年4月

入庁

みらい企画創造部
国際人材活躍・コンベンション誘致推進課
第1子誕生に伴い育児休業取得
職場復帰

令和3年12月
令和4年2月

ある1日のスケジュール

7:00 起床、新聞を読む
7:30 子供と遊ぶ、朝食
8:30 業務開始、メールの確認
10:00 ドイツ大使との意見交換会に参加
15:00 オンライン研修に参加
17:15 業務終了
17:45 子供と遊ぶ、夕食
18:30 子供をお風呂に入れる
19:30 寝かしつけ、家事、自由時間
22:30 就寝



Q 育児休業を取得した経緯を教えてください。

妻と相談し、約2か月間育児休業を取得しました。まだ入庁してたった8か月なのに育児休業を取得してもいいのだろうか、と周りの目が不安でしたが、上司や同僚が快く後押ししてくれました。むしろ上司は「もっと長く休まなくていいのか？」と声をかけてくれました。

Q 育児休業を取得しての感想は。

初めて見せる笑顔、初めてする仕草、何一つ見逃すことのない、夫婦ともに感動と笑顔の溢れる幸せな2か月間でした。この貴重な経験ができたのも、職場の上司や同僚のおかげです。周りが育休を取得する時は、私も全力でサポートしようと思います。



Q 子育て中のパパとしての県職員の魅力は。

男性の育児参加について理解のある職員が多く、男性の育児休業取得や子供の送り迎えのための勤務時間短縮は当たり前のように浸透しています。また、通常の有給休暇も取得しやすいため、金曜日や月曜日に休みを取って連休を作り、よく家族で旅行に出かけています。ワーク・ライフ・バランスが実現できる、非常に恵まれた職場環境だと思います。